

器具を取り付ける前に

●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。
必ず守る *しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。

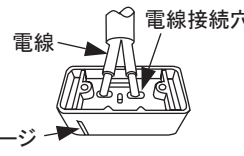
電気工事店(有資格者)のかたへ

●角形引掛シーリングボディを取り付ける場合は次の方法で行ってください。

①電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

適用電線
φ1.6または
φ2.0 単線

*なべ皿木ねじは、あらかじめはずしておいてください。

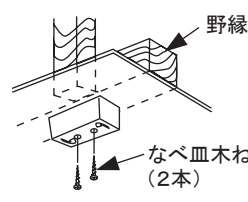


解除のしかた

●○ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線をひっぱってください。



②角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで天井に取り付けてください。



野縁などの補強材のある所に取り付ける。

*補強材のないところに取り付けると器具の落下によるけがの原因となります。

各部の名称

図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

●下図を参照して、各部品をお確かめください。

本体を取り付ける前に...

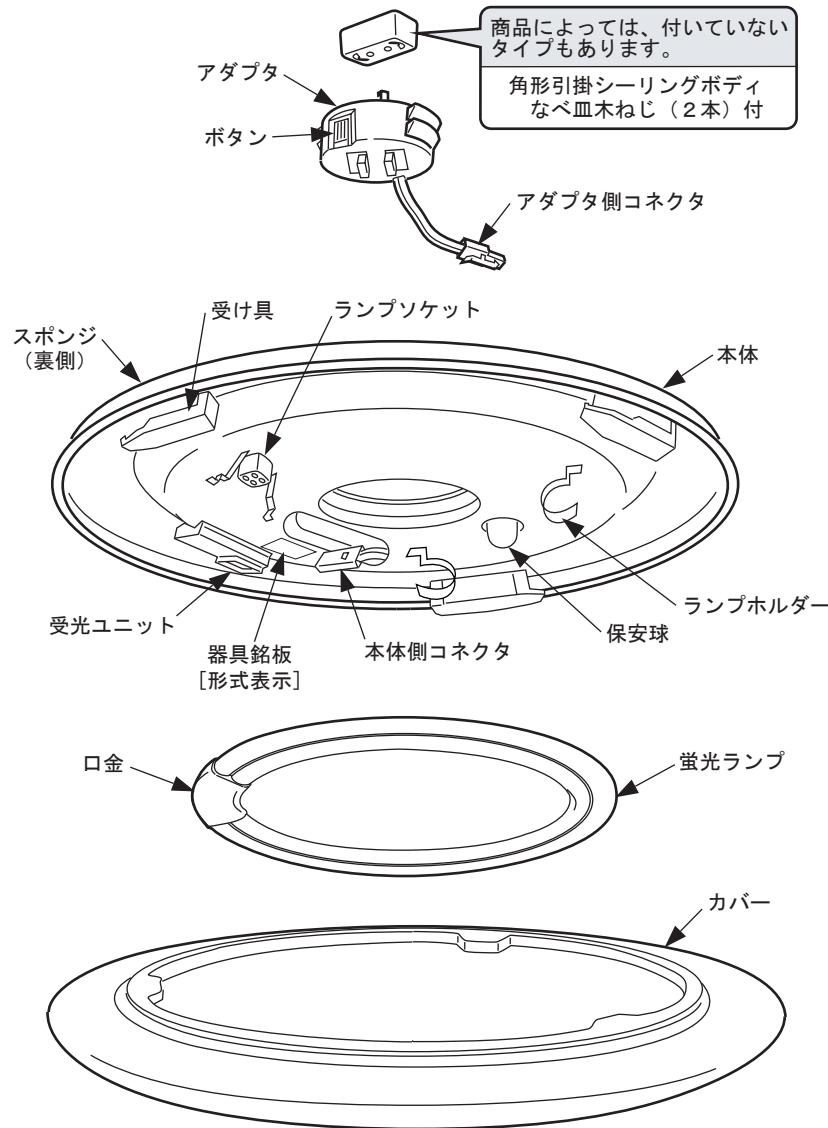
- 蛍光灯などを固定しているテープをはがしてください。
- アダプタに付属の角形引掛シーリングボディがついている場合は、アダプタのボタンを押しながら左方向へ回してはずしてください。



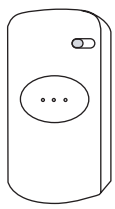
本体裏側のスポンジを剥がさない。
*本体の回転防止や防虫効果を得るために付いています。



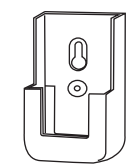
口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。
*接続が不完全な場合、火災の原因となります。



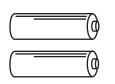
リモコン部品



リモコン



リモコンケース



単3形(1.5V)乾電池 (2本)



木ねじ (2本)

カバーのはずしかたおよびランプの交換方法

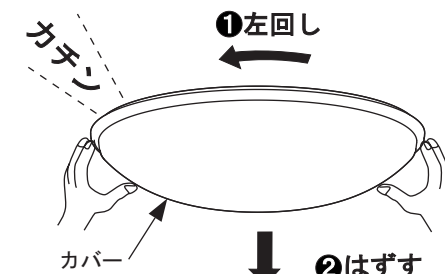
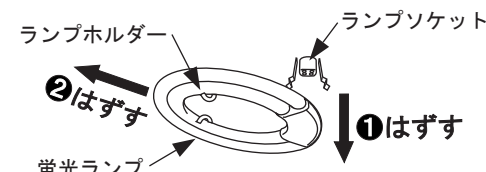
①電源を切ってください。(壁スイッチをOFFにしてください。)

②カバーを押し上げながら、左にカチンと音がするまで回し、カバーを取りはずしてください。

③蛍光灯をランプソケットからはずしたのち、ランプホルダーからはずしてください。



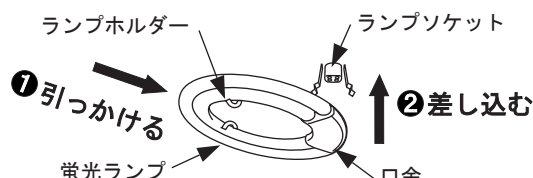
消灯直後の蛍光灯は熱いので触らない。
*やけどの原因となります。



④交換用蛍光灯をランプホルダーに引っ掛け、口金をランプソケットに差し込んで取り付けてください。



●ランプソケットに合わせて確実に接続する。
●口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。
必ず守る *接続が不完全な場合、火災の原因となります。



⑤リモコンまたは、壁スイッチで点滅操作をおこない点灯確認してください。

*蛍光灯が点灯している状態、または、蛍光灯が切れて通電されている状態でランプ交換をした場合、交換した蛍光灯は点灯しませんので必ず点滅操作をおこない点灯確認してください。

⑥カバーを取り付けてください。(3ページ、3. カバーの取り付け) をご参照ください。)

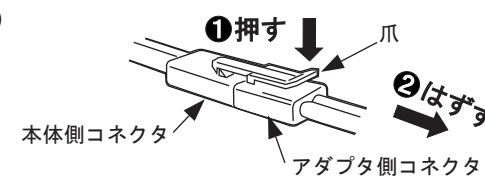
本体のはずしかた

①電源を切ってください。(壁スイッチをOFFにしてください。)

②コネクタをはずしてください。(アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。)



コネクタをむりやり引き抜いたり、電線を引っぱったりしない。
*電線の破損による感電、故障の原因となります。

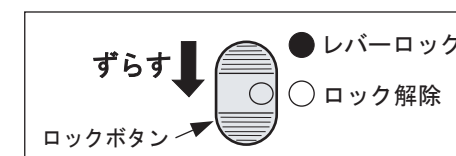


③アダプタのロックボタンを「ロック解除」の位置にしてください。

④両手で本体を支えながら、アダプタのレバー(2ヶ所)を外側に広げてください。



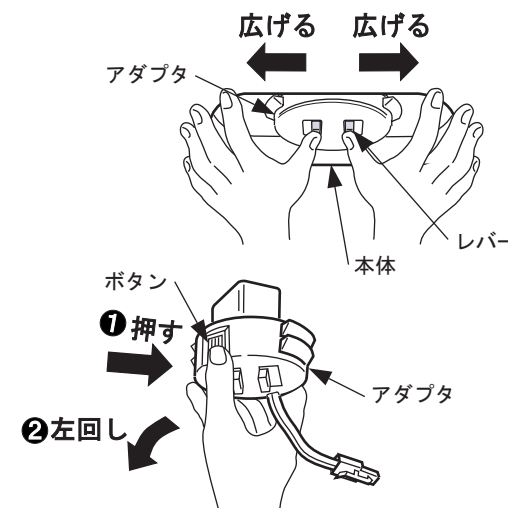
本体が落下するので確実に本体を支えながら作業する。
*手を離しますと本体落下によるけがの原因となります。



⑤アダプタをはずしてください。(ボタンを押しながら左方向に回してください。)



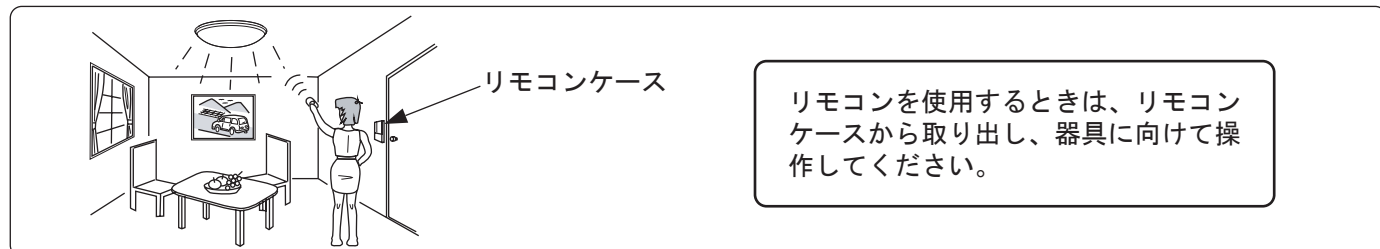
アダプタをむりやり回さない。
*配線部品の破損の原因となります。



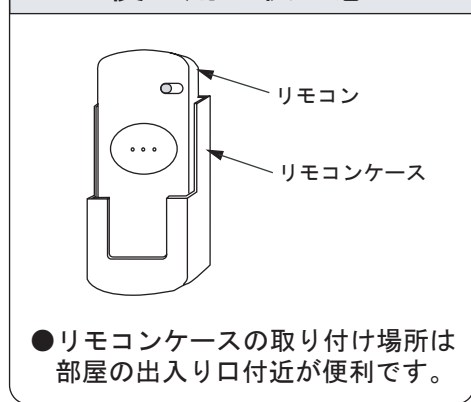
⑥本体の取り付けかたは3ページ 器具の取り付けかた を参照してください。

リモコンケースの使いかた

●リモコンをなくさないように、リモコンの置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。

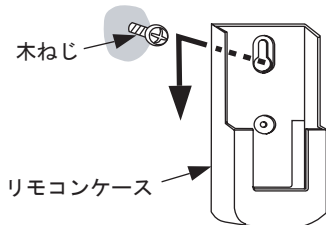


使用状態

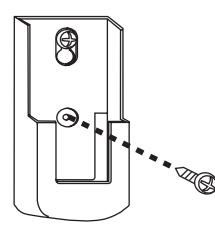


リモコンケースの取り付けかた

①リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ1本を壁面に仮止めし、リモコンケースをひっかけてください。



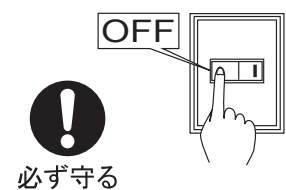
②2本目の木ねじをねじ込み両方の木ねじでしっかり固定してください。



保守とお手入れ 常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、蛍光ランプなどの交換の際は、必ず電源を切る。

*電源を切らないと感電の原因となります。



■器具のお手入れ



必ず守る

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。
*石けんとは天然油脂を原料としたものです。（商品表示が“石けん”であることを確認してください。）

■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。



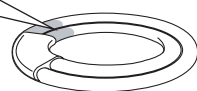
禁止

*割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



■蛍光ランプの交換時期について

●口金付近が全周にわたって黒ずみ明るさが低下しましたら寿命ですので、新しい蛍光ランプとお取り替えください。



日立パールミック85形をお求めください。

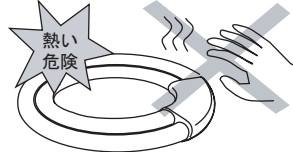
●なお、調光で点灯した場合、比較的早い時期に黒い斑点が発生することがありますが、所定のランプ照度や寿命性能は満足しますので、そのままご使用ください。

■蛍光ランプ取り扱い上のご注意

●点灯中および消灯直後は、ランプが熱くなっているので、触らない。



接触禁止



*やけどの原因となります。

●ランプホルダーをランプに強く当てない。



禁止



*ランプが破損し、けがの原因となります。

器具の取り付けかた

1. アダプタの取り付け 電源を切ってください。（壁スイッチを **OFF** にしてください。）

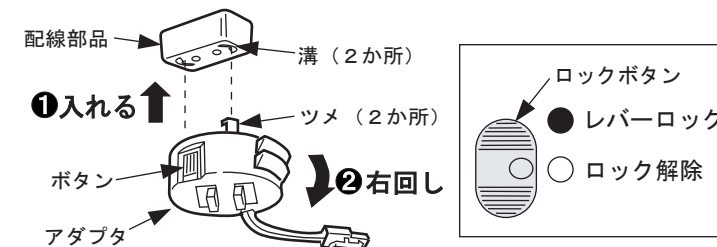
①配線部品（引掛シーリングボディなど）の溝にアダプタのツメを入れ、右方向にいったばいまで回してください。（ロックが掛かり固定されます。）

②ロックボタンが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。



取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。

必ず守る *取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



アダプタのはずしかた

ボタンを押しながら左方向へ回してください。

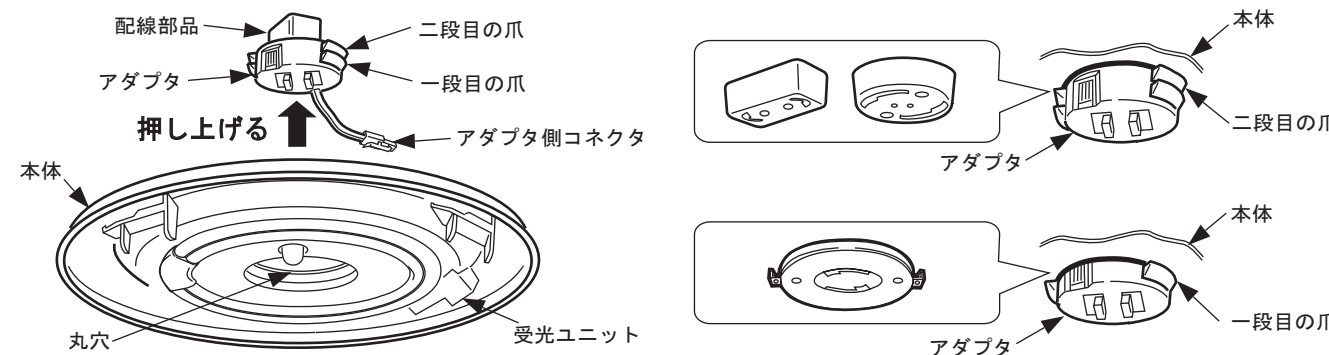
2. 本体の取り付け

①リモコンをひんぱんに操作する方向に受光ユニットが向くように本体を合わせ、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。

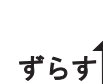


天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので必ず下図を参照し、適切な爪（両側2ヶ所）が本体に掛かっていることを確認する。

必ず守る *取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



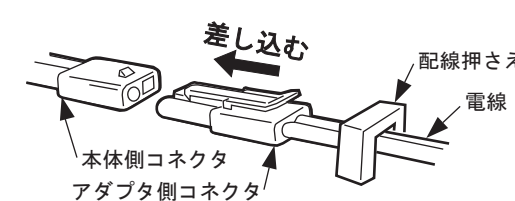
②アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。



●レバーロック
○ロック解除

ロックボタン

③アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を配線押さえに引っ掛けてください。

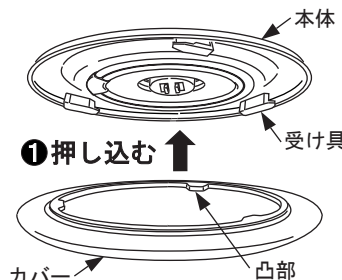


禁止

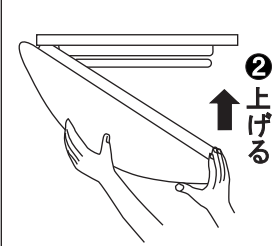
コネクタや電線をむりやり引っ掛けない。
*電線が断線し、感電、故障の原因となります。

3. カバーの取り付け

①カバー凸部を本体の受け具と受け具の間に合わせて、押し込んでください。



②反対側を押し上げてください。



③中央をささえながら右に回してください。



ご注意 必ず、カチンと音がして止まるまで回すこと



禁止

カバーを正しく取り付け後は、カバーをむりやり回さない。
*器具の破損、落下によるけがの原因となります。



必ず守る

取り付け後、カバーを軽く下にひっぱり確実に取り付けられているか確認する。
*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

リモコンによる操作方法

各部の名称（リモコン部品）

乾電池の入れかた交換のしかた

- ①リモコン裏側の▷印部の爪を横に押しながら電池ぶたをはずしてください。
- ②単3形乾電池を＋、－の表示に合わせて入れてください。
- ③電池ぶたを差し込み、「パチン」と音がするまでしっかり押してください。

* リモコンの平均電池寿命は、1日10回の使用で約1年間使用可能です。

注意

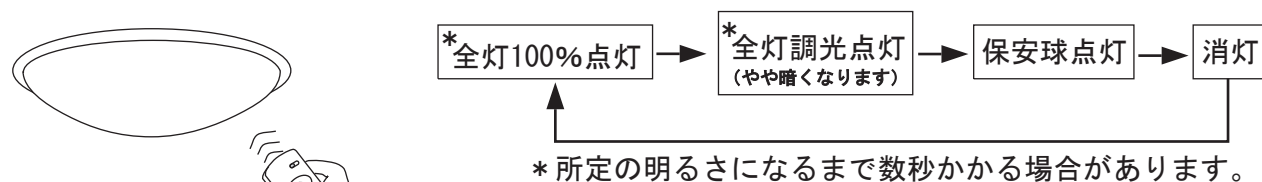
長期間使用しない場合は、乾電池を取りはずしておく。
必ず守る * 液もれによるリモコンの故障の原因となります。

注意

・種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）また、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。
・充電式電池は使用しない。
・使えなくなった乾電池は可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。
*乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因となります。

点灯順序確認

- スイッチボタンを押して点灯順序を確認してください。（スイッチボタンを押すたびに下記のように切り替わります。）



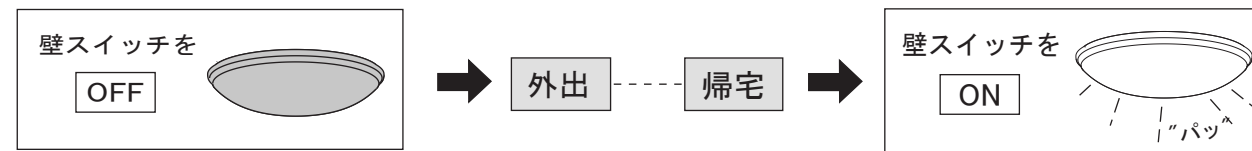
このようなことにもご注意を

- リモコンと器具の間にしゃへい物があると、器具が動作しない場合がありますので、しゃへい物を避けて操作してください。
- ランプ点灯直後**、リモコンで切り替えができない場合があります。この場合、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用は、変形や故障の原因となりますのでおやめください。
- リモコンを落としたり、衝撃をあたえたりしないでください。また、水にぬらしたり、温度が高くなる場所に置いたりしないでください。操作不良の原因となります。

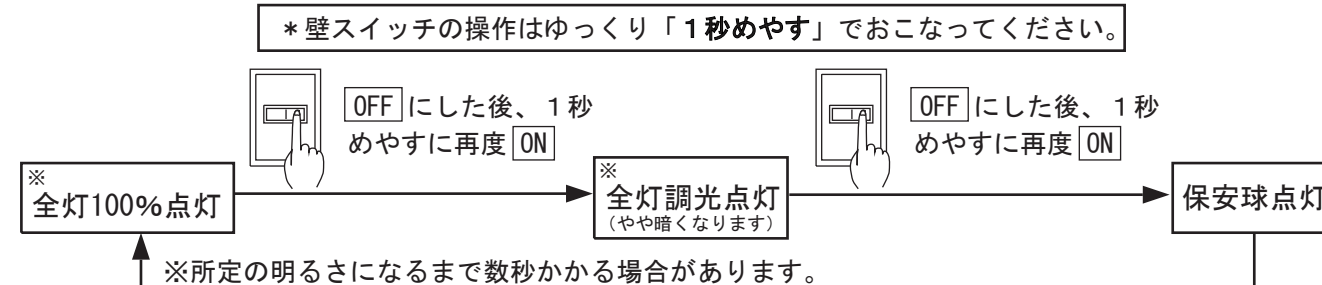
壁スイッチによる操作方法

壁スイッチでも次のような点滅操作ができます。

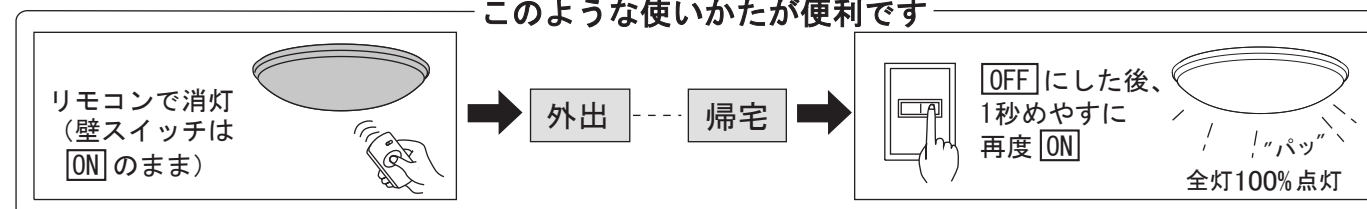
- 壁スイッチを[OFF]にした後、再度壁スイッチを[ON]にしますと、消灯前の点灯モードになります。



- 壁スイッチを操作することで次の点灯モードに切り替えることができます。



このような使いかたが便利です



—ご注意—

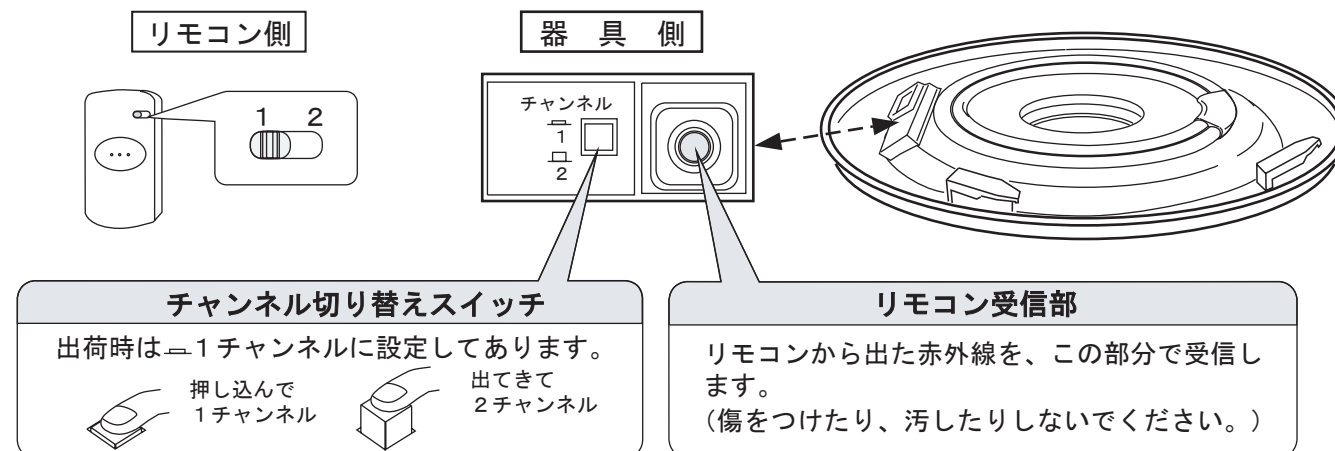
壁スイッチの[OFF] - [ON]の切り替え時間検知し、次の点灯モードへ進める方式を採用しております。検知する切り替え時間は、0.5秒～2秒としておりますが、**壁スイッチ操作の際は約1秒**をめやすとして操作してください。0.5秒以下や2秒以上の場合は検知しないので点灯モードの切り替えはできません。このような場合は、約1秒間隔で[OFF] → [ON]操作をもう一度おこなってください。

チャンネル切り替えスイッチの設定について

- お部屋で使用される台数に応じ、次のようにチャンネルを設定してください。

室内のリモコン照明器具が1台の場合

製品出荷時は、1チャンネルに設定してありますが、確認のうえ、器具側およびリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを1チャンネルに合わせてください。



室内のリモコン照明器具が2台の場合

器具側とリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを右図のように設定することにより、個別操作や同時操作ができます。また、リモコンは、他の日立リモコン照明器具と一部互換性があるため、一緒に使用する場合はチャンネル切り替えスイッチを右図同様に設定してください。

	個 別 操 作		同 時 操 作	
	1 台 目	2 台 目	1 台 目	2 台 目
器具側	1	2	1	1
リモコン側	1 2	1 2	1 2	1 2